**「二酸化炭素排出量削減効果の算定資料」の作成例について**

* 事業を実施することによる二酸化炭素排出量削減効果を数値で表してください。
* 計算式を示し、算定の根拠とした資料を併せて添付してください。
* **電力に係る排出係数**は、原則「**0.000431 t-CO2／kWh** 」を使用してください。

【作成例１】太陽光発電設備を導入する場合

①月間予測発電量（kWh/月）

月間予測発電量 ＝ 月平均斜面日射量（kWh/㎡）× システム出力(損失)係数

× 設置容量（kW）× 月間稼働日数（日/月）÷ 日射強度（１kW /㎡）

※月平均斜面日射量は、NEDO（[http://www.nedo.go.jp/library/nissharyou.html）](http://www.nedo.go.jp/library/nissharyou.html）等)等からデータを取得してください。

※月間予測発電量は、上記の計算によるものの他に、メーカー・施工業者の予測発電量を用いても構いません。

※１～12月の各月ごとの月間予測発電量を算出してください。

②年間予測発電量（kWh/年）

年間予測発電量は、１～12月の月間予測発電量の合計値です。

③年間二酸化炭素排出削減量（t-CO２/年）

年間二酸化炭素削減量 ＝ （　②　）（kWh/年）× 排出係数

※排出係数は、原則「0.000431（t-CO２/kWh）」を用いてください。

【作成例2】空気調和設備を導入する場合

①年間削減電力（kWh／年）

　年間削減電力 ＝ 既設設備の年間入力電力 － 新設設備の年間入力電力

年間入力電力（kWh／年） ＝ 冷房時の年間入力電力 ＋ 暖房時の年間入力電力

　（年間入力電力は、メーカー作成のシミュレーション資料等の数値を参考にしてください。）

②年間二酸化炭素削減量（t-CO２/年）

年間二酸化炭素削減量 ＝ （　①　）（kWh/年）× 排出係数

（排出係数は、原則0.000431（t-CO２/kWh）を用いてください。）

【作成例3】エネルギー管理装置を導入する場合

ピークカット率を算出してください。

①現在の契約電力：　　　（kW）

　（数値は、検針票等から確認してください。）

②目標とするデマンド設定電力：　　　（kW）

　（目標とする最大需要電力を記載してください。）

③ピークカット率（％）

ピークカット率 ＝ ［ １ － （　②　）／（　①　） ］× 100 ＝ 　　　（％）